

山は生き物です。放っておくと、山が崩れたりして災害をもたらします。手入れを念入りにすると、大きな実りをもたらしてくれます。これまで、山の値



奈良県知事

荒井正吾

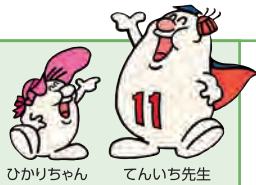
打ちはお金になる材木を産出することだと見られてきました。早く成長して太い木材になる杉のような木を全国各地でも植えてきました。

しかし、森は田畑のように、人間が植えたものだけで成り立っているわけではありません。森独自の生態系があります。森を木材の産出場としてだけで見ないで、山を山として扱い、森の呼吸を聞き取って、森の望むように維持することが必要です。

森の健康度を測って、よい状態に維持する役目を森の保健師ともいえる、奈良県フォレスターに託すことにしました。奈良県とお付き合いのあるスイスのやり方に倣ったものです。奈良県の森林が新しい森林環境管理制度の下で、人や動植物と永久に共生できるよう、心から願っています。奈良県の森は、きっと良いように応えてくれると思います。

毎月11日は人権を確かめあう日

人権コーナー



ひかりちゃん てんいち先生

男女でつくる幸せあふれる奈良県に向けて

男女格差の大きさを国別に比較した「ジェンダーギャップ指数2021(世界経済フォーラム)」が令和3年3月に発表されました。調査対象となった世界156カ国の中で日本は、前年の121位から1位改善したものの、120位という低い順位でした。

ジェンダーとは、生物学的な性別とは異なる社会的・文化的につくり上げられた性別を指します。男だから、女だからといった無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)によってつくられていくとも言われています。例えば、職業選択、髪型や服装などにおいて、男女のどちらかに偏ったイメージはありませんか。「男性は外で働き、家事・育児は女性がするもの」のように役割分担に固定観念はありませんか。このようなイメー

ジヤ固定観念はジェンダーに基づくものです。

県では3月に「男女でつくる幸せあふれる奈良県計画」を策定しました。奈良で働き暮らす全ての人々が自らの能力を最大限発揮し、一人一人の幸せを実現できる奈良県づくりを目指すための計画です。この計画の推進により、男女に関わらず、全ての人々がジェンダーにとらわれず、力を発揮することにつながればと願っています。

今月の標語&ポスター

かわろうよ  
人より先に  
自分から

県立大淀高等学校 2年  
なかやま りょう  
中山 亮さん



立命館宇治高等学校 1年  
まつおか さと  
松岡 咲都さん

※学校名・学年・氏名は発表時のものです。

クイズ&プレゼント

正解者の中から抽選で

奈良の木  
木工キット  
(2段飾り棚)を  
3名にプレゼント!

締め切りは6月30日(消印有効)



○に当てはまる文字を答えてください。

Q 温室効果ガス排出実質ゼロにする社会を何という?

A ○○○社会

4月号の答えは“5367”でした。  
応募総数99件。

ハガキにクイズの答えと、住所、名前、年齢、電話番号、「県民だより奈良」の感想(良かったコーナー・取り上げてほしい話題・改善点など)を記入して、〒630-8501(住所記入不要)奈良県広報広聴課へ。※個人情報、プレゼントの発送以外には使用いたしません。

ヒントは  
2ページ



④ www.pref.nara.jp/  
30222.htmや上記から  
も6/1以降応募できます。